

薬剤師職場復帰業務コアカリキュラム

一般目標(GIO)

ライフワークバランスをとりながら病院薬剤師として勤務を継続していくために、安全な薬物療法を提供できるよう、ベースとなる薬剤業務の習得を確認する。

項目	到達目標(SBOs)	チェック(○)
セントラル調剤室		
1	入院処方箋を出力することができる	
2	計数調剤を行うことができる(ポリムス使用法を含む)	
3	複数規格時の調剤ができる	
4	患者説明書を添付する薬剤を示すことができる	
5	お薬手帳のラベルシールを印刷することができる	
6	散薬監査システムを利用し散薬調剤ができる(力価計算、倍散調剤を含む)	
7	散薬分包機を正しく取り扱うことができる	
8	散薬の補充ができる	
9	粉碎調剤ができる	
10	錠剤分包機を使用し分包調剤ができる(半錠等分割調剤を含む)	
11	簡易懸濁の調剤方法が理解できる	
12	錠剤分包機のカセットに薬品を正しく補充することができる	
13	軟膏混合調剤ができる	
14	水薬監査システムを用いて水薬調剤ができる	
15	処方監査することができる	
16	処方箋等の出力物を再発行することができる	
17	処方の修正、削除ができる	
18	ユヤマの監査端末に止まった処方を適切に処理できる	
19	疑義照会を適切に行い、疑義照会テンプレートを入力できる	
20	患者コメントの入力ができる	
21	指定抗菌薬の取り扱いが理解できる	
22	特例採用薬の扱いが理解できる(特例の届出用紙の管理を含む)	
23	麻薬の調剤ができる	
24	麻薬処方箋、施用表の取り扱いが説明できる	
25	向精神薬、毒薬の調剤ができる(出庫、管理簿の記入等)	
26	在庫の場所が理解できる	
27	現在の在庫数を調査し卸業者を特定することができる	
28	卸業者へ急配を依頼することができる	
29	薬物血中濃度報告用紙の取り扱いを理解し、評価することができる	
30	薬用炭を調剤することができる	
31	窓口において薬剤を説明しお渡しすることができる(電子カルテ入力を含む)	
32	サテライト麻薬金庫、OPサテライト冷蔵庫金庫の鍵の管理を理解できる	
33	各プリンタのメンテナンスができる	

注射調剤室		
1	注射薬の定期・緊急の区分が説明できる	
2	NECから注射処方をユヤマへ送信することができる	
3	ユヤマからアンプルピッカーを作動させることができる	
4	手払い出し、機械払い出しが理解できる	
5	ポリムスを使用し注射調剤ができる(緊急注射のみ)	
6	冷所薬剤や端数薬品の調剤を適正に行うことができる	
7	Cubixxの薬品の調剤ができる	
8	払い出しを行わない薬剤を列挙することができる(ヒューマリンR等)	
9	アンプルピッカーへ薬品を補充することができる	
10	アンプルピッカーのラベルや紙をセットすることができる	
11	注射薬の在庫場所が理解できる	
12	毒薬・向精神薬を調剤することができる	
13	現在の在庫数を調査し卸業者を特定することができる	
14	卸業者へ急配を依頼することができる	
15	指定抗菌薬届出用紙の出力方法が理解できる	
16	指定抗菌薬の取り扱いが説明できる(使用患者一覧、患者コメントの入力等)	
17	生物学的製剤(血液製剤)の調剤ができる(注射箋、外来、伝票請求等)	
18	注射麻薬の調剤ができる	

19	麻薬施用票の取り扱いが理解できる	
20	麻薬ラベルの取り扱いが理解できる	
21	薬品請求伝票の取り扱いが理解できる	
22	注射薬処方監査ができる	
23	注射箋・ラベルなど再発行することができる	
24	注射薬の処方修正、追加ができる	
25	注射薬の再発行調剤、中止薬の処理が適切にできる	
26	病棟未決定の注射の取り扱いが理解できる	
27	外来総合処置室へ配送する内視鏡、P生検の注射の取り扱いが理解できる	
28	外来注射麻薬のラベル、麻薬施用票を出力することができる	
29	OP室、アンギオ室へ麻薬を届けることができる	
30	OPで用いるオフポンプA・B、オンポンプCの薬剤を調製することができる	

サテライトファーマシー		
1	注射薬を混合調製することができる	
2	内服麻薬の返納を行うことができる	
3	注射薬麻薬の返納を行うことができる	
4	注射麻薬の調剤ができる	
5	サテライトでの再監査の意味が理解できる	
6	薬剤管理指導を行うことができる(退院時指導を含む)	
7	指導記録を入力し登録することができる	
8	薬剤情報提供書を作成することができる(退院時の情報提供書も含む)	
9	病棟薬剤業務日誌を記載することができる	
10	転院時の薬剤情報提供書や薬剤管理サマリを作成できる	
11	アレルギー薬の登録ができる	
12	PFMシートの転倒転落、せん妄リスクアセスメントの薬剤項目の入力ができる	
13	褥瘡診療計画書に入力ができる	
14	患者支援センターの業務が理解できる(PFMシート等の内容含む)	
15	VCMの血中濃度シミュレーションができる	
16	医療材料を請求することができる	
17	内服薬を正確に配薬セットすることができる	
18	配薬セット業務について説明できる	

持参薬調査業務		
1	持参薬を適正に鑑別し処方入力できる	
2	当院不採用薬品の薬効を調べることができる	
3	錠剤の番号や記号から薬剤の鑑別ができる	
4	不明な散薬を鑑別することができる	
5	持参薬調査依頼に氏名を登録し、終了入力ができる	
6	各病棟の調査依頼持参薬、返却の場所が理解できる	
7	持参薬に関して適正に患者面談し服薬状況を聞き取ることができる	
8	不明な持参薬を他院、調剤薬局へ問い合わせることができる	
9	サプリメントや薬物アレルギーについて確認することができる	
10	中止薬の処理(用紙の添付等)、計数省略対応について理解できる	
11	持参薬の継続、中止についてマニュアルを参考に判断できる。	

DI業務		
1	配合変化を調べることができる	
2	適正に中毒情報を提供することができる	
3	院外薬局疑義照会に対応することができる(日勤帯、当直帯)	
4	腎障害時の薬剤投与量について適正に回答することができる	
5	妊婦・授乳婦への薬剤投与に関する情報を正確に提供することができる	
6	副作用報告の記入ができる	
7	医薬品副作用カードの発行手順が理解できる	
8	病棟薬剤業務情報提供書の記入ができる	
9	MDViewを使用できる	

日当直業務	
1	業務日誌の記載ができる
2	夜間施錠場所と施錠時間を理解している
3	時間外の配送時間と配送方法を理解している
4	各病棟へ注射薬を届けることができる(新着トレイ置き場、冷蔵庫、毒薬等)
5	1人での調剤・鑑査方法を理解している
6	冷蔵庫・冷凍庫の温度管理について理解している
7	ドクターヘリ用筋弛緩薬・麻薬の受払に対応できる
8	手術室の早朝手術の麻薬を払い出すことができる
9	月1回の再起動ができる
10	アンプルピッカーが故障した際、適切に対応することができる
11	てんびん等の機器管理手順を理解している
12	緊急時の院内製剤に対応できる
13	化学療法の業務に対応できる

*到達できた目標はチェック欄に自身で○を記入する

*1か月以内にすべてのSBOsを確認する

*すべてチェック欄に○を記載したことを確認し、日直・当直の可否を相談する

R5年9月更新